

# 昭和初期の子供向けの中国語教材

—二系統のなぞなぞめんこと日中対訳紙芝居

氷野善寛

Chinese teaching materials for children in the early Showa era:  
Two kind of riddle Menko and Kamishibai.

HINO Yoshihiro

At Yoshihiro Hino 2020, as a Chinese language education for children in the early Showa era, we focused on toys for children at that time, which had not been taken up as Chinese-related teaching materials until then, and I got a toy called Karuta and Menko. In, I presented and introduced specific materials about those dealing with Chinese. As a result of subsequent material research, it became clear that many new Kamishibai, which were not known at the time of the announcement, were used as new Chinese teaching materials for children. Therefore, I would like to introduce these two types of materials.

キーワード：中国語教材、子供向け教材、中国語かるた、絵本、戦前の中国語

Keywords：Chinese teaching materials, Educational materials for children,  
Chinese Karuta, picture book, Chinese education in the Showa era

## はじめに

氷野善寛 2020<sup>1)</sup> で、昭和初期の子供向けの中国語教育ないしは中国語の啓発活動について、それまで中国語関連の教材としては触れられてこなかった当時の子供向けの玩具に注目し、筆者自身が入手した「かるた」や「めんこ」といった玩具で中国語を扱ったものについて具体的な資料を提示し紹介した。その中で扱った資料は、発表時までに発見したものとして、『支那語学習』、「NAGOYA」と記載のある長方形型の2種類の紙メンコと『カード兼用日用支那語かるた』とタイトルがついた1種類の「かるた」、そして子供向けに発行された『大毎小學新聞』に連載された「支那語漫景」である。

その後の継続的な資料調査の結果、発表時には判明していなかった多数の紙めんこに加え、

---

1) 氷野善寛 2020 「昭和初期の子供向けの中国語教材の一端：めんこ・かるた・新聞」『関西大学東西学術研究所紀要』53号、pp. 209-229

日中対訳形式の紙芝居が新たな子供向けの中国語教材として利用されていることが明らかになった。そこで、この新たな資料についても紹介し、昭和初期の子供向け中国語教材の資料群の一つとしてまとめる。

## 1. めんこ

2020年までの調査では2種類の紙めんこの存在を明らかになっていた。めんこの種類としては昭和初期に多く見られたなぞなぞ形式のめんこで「～ハ何カ」という「問」があり、その裏の面に「答」が掲載されているものである。「問」の面は上記の質問以外に、足し算、掛け算、割り算、引き算などの算数の問題などが掲載されているものもあるが、管見の限りでは、全て単色印刷である一方、「答」の面は紙面いっぱいフルカラーで「答」に関連するイラストが描かれ、中国語のなぞなぞめんこではカタカナで中国語の音を示したものや中国語の単語を漢字で表記しているものがある。このなぞなぞ形式のめんこについては中国語だけを扱っているのではなく、マレー語などほかの外国語や、地理、歴史、軍事、人物など日本の事物に関するものもある。

中国語のなぞなぞめんこについては、これまで2種類が判明している。そのうち1種類目は名古屋市美昌堂から販売された『支那語勉強』で、未裁断の状態のものが1シート（裁断後は約縦8.5cm×横3.2cmの縦長の四角いタイプのめんこ8枚分）である。もう1種類は「問」の面に「16.10.15 NAGOYA」の記載があり、昭和16年10月15日に販売されたものと考えられるものであり、12枚の存在を確認できた。1枚の大きさは縦7.6cm×横3.4cmの長方形タイプであった。以上2つについては一部重複するが、全体像をより明確にするために、新資料と共に情報を整理する。

### 1.1 『支那語勉強』

『支那語勉強』については裁断されたものを追加で確認することができたが、すでに確認されている8枚と異なるものは現時点で発見できていない。

『支那語勉強』は問の面には「〇〇ト云フコトヲ支那語デ何ト云ヒマスカ」という定型フレーズで質問文が印刷され、答の面には、絵柄と共に「答 トウ・シェ アリガタウ」のように中国語の発音をカナで表記したものと日本語が書かれている。

8枚のめんこに記載されている内容は以下の通りである。

|                              |              |
|------------------------------|--------------|
| (問) アルカト云フコトヲ 支那語デ 何ト云ヒマスカ   | (答) 答 トウ・シェ  |
| (問) アリガタウト云フコトヲ 支那語デ 何ト云ヒマスカ | (答) 答 ユウメイユー |
| (問) サヨナラト云フコトヲ 支那語デ 何ト云ヒマスカ  | (答) 答 プーヤオ   |
| (問) イラナイト云フコトヲ 支那語デ 何ト云ヒマスカ  | (答) 答 シーペー   |
| (問) タベルト云フコトヲ 支那語デ 何ト云ヒマスカ   | (答) 答 チー     |



図1 『支那語勉強』の問（上段）と答（下段）

（問）一カラ十マデノカズヲト云フコトラ 支那語デ 何ト云ヒマスカ

（答）イー・アル・サン・スー・ウー・リユウ・チー・パー・チュウ・シー

（問）牛ト云フコトラ 支那語デ 何ト云ヒマスカ

（答）答 ニウ

（問）羊ト云フコトラ 支那語デ 何ト云ヒマスカ

（答）答 ヤン

「答」は、中国語をカナで示したものが書かれているが、有気・無気の違いや四声などは表しきれていない。それぞれのカナを漢字で書くと、「多謝」、「有無有」、「不要」、「失陪」、「吃」、「一二三四五六七八九十」、「羊」、「牛」となる。内容は簡単な挨拶や定型フレーズ、数字や動作、動物などである。

## 1.2 「無名」①

19 枚、サイズは縦 7.6cm×横 3.4cm。

「問」の面にはタイトルや発売元を示す表記はない。イラストやフォントが 1.1『支那語勉強』と同系統であると思われるが、発売時期などを含め詳細は一切不明である。

これまでに入手できたこの「無名カルタ」の特徴としては、動詞やフレーズを扱っためんこが一定数あることである。次に掲げる画像のように「跑」「答」「睡」のような 1 字の動詞や「你起来了吗？」のようなフレーズが収録されている。この点も『支那語勉強』の内容と合致する特徴である。

(問) 休ムト云フコトラ 支那語デ 何ト言ヒマスカ (答) シエ (歇)

(問) ネムルト云フコトラ 支那語デ 何ト言ヒマスカ (答) シユイ (睡)





図2 「問」動作やフレーズを扱うメンコ

- |               |      |          |                   |
|---------------|------|----------|-------------------|
| (問) 走ルト云フコトラ  | 支那語デ | 何ト言ヒマスカ  | (答) パオ (跑)        |
| (問) 答ヘルト云フコトラ | 支那語  | デ何ト言ヒマスカ | (答) ター (答)        |
| (問) 笑フト云フコトラ  | 支那語デ | 何ト言ヒマスカ  | (答) シャオ (笑)       |
| (問) 歌フト云フコトラ  | 支那語デ | 何ト言ヒマスカ  | (答) チアン (唱)       |
| (問) 母デスト云フコトラ | 支那語デ | 何ト言ヒマスカ  | (答) シーチナム (是親母)   |
| (問) オ早ウト云フコトラ | 支那語デ | 何ト言ヒマスカ  | (答) ニーチライラ (你起來了) |
- ( ) の漢字は筆者による、以下も同様

動作以外にも植物、動物、兵器といったカテゴリーが扱われている。



図3 動作以外のめんこ

植物

- |                            |                  |
|----------------------------|------------------|
| (問) サクラト云フコトヲ 支那語デ 何ト云ヒマスカ | (答) インホア (桜花)    |
| (問) 牡丹ト云フコトヲ 支那語デ 何ト云ヒマスカ  | (答) ムータンホア (牡丹花) |

動物

- |                           |                |
|---------------------------|----------------|
| (問) 鳥ト云フコトヲ 支那語デ 何ト云ヒマスカ  | (答) ニアオル (鳥兎)  |
| (問) ゾウト云フコトヲ 支那語デ 何ト云ヒマスカ | (答) シアン (象)    |
| (問) サルト云フコトヲ 支那語デ 何ト云ヒマスカ | (答) ホウル (猴兎)   |
| (問) 獅子ト云フコトヲ 支那語デ 何ト云ヒマスカ | (答) シーツ (獅子)   |
| (問) 牛ト云フコトヲ支 那語デ 何ト云ヒマスカ  | (答) シユイニウ (雄牛) |

- (問) 新聞ト云フコトヲ 支那語デ 何ト言ヒマスカ (答) バオ (報)  
(問) 家ト云フコトヲ 支那語デ 何ト言ヒマスカ (答) ファンツ (房子)

### 兵器

- (問) タンクト云フコトヲ 支那語デ 何ト言ヒマスカ (答) パオ (戦車)  
(問) 大砲ト云フコトヲ 支那語デ 何ト言ヒマスカ (答) バオ (炮)

### その他

- (問) 新聞ト云フコトヲ 支那語デ 何ト言ヒマスカ (答) バオ (報)  
(問) 家ト云フコトヲ 支那語デ 何ト言ヒマスカ (答) ファンツ (房子)

## 1.3 「無名」②

1枚、サイズは縦7.6cm×横3.4cm。

「問」の面のデザインは異なるものの、『支那語勉強』の系統であると考えられる。



図4 雷

- (問) 支那語デ カミナリノコトヲ ナント言ヒマスカ (答) レイ (雷)

## 1.4 「16.10.15 NAGOYA」

17枚、縦7.6cm×横3.4cm。

氷野2020で「問」の面に「16.10.15 NAGOYA」という記載のあるメンコは12枚確認できていたが、今回新たに5枚実物を確認することができた。



図5 『16.10.15 NAGOYA』の問の面（上段）と答の面（下段） 既存分

16.10.15 NAGOYA は「問」の面を並べると2種類のデザインがあることが分かる。「○○ノコトヲ支那語デ何トイヒマスカ」が定型の質問文であり、『支那語勉強』とイラストや質問文は異なるが、基本的な構成は同じである。扱っている内容も、人物、植物、果物、動物と大きな差はない。今回の調査で次の「女孩兒」「蘋果」「葡萄」「菊花」「竹子」の5枚が追加され、このシリーズは合計17枚実物を確認できている。

17枚の内容は以下の通りである。

- |     |           |      |         |     |    |      |
|-----|-----------|------|---------|-----|----|------|
| (問) | オ父サンノコトヲ  | 支那語デ | 何トイヒマスカ | (答) | 父親 | フウチン |
| (問) | オ母サマノコトヲ  | 支那語デ | 何トイヒマスカ | (答) | 母親 | ムウチン |
| (問) | オ祖父サマノコトヲ | 支那語デ | 何トイヒマスカ | (答) | 祖父 | ツウフウ |
| (問) | オ祖母サマノコトヲ | 支那語デ | 何トイヒマスカ | (答) | 祖母 | ツウムウ |





図6 『16.10.15 NAGOYA』の問の面（上段）と答の面（下段） 新規分

- |                            |                  |
|----------------------------|------------------|
| (問) 男ノ兒ノコトヲ 支那語デ 何トイヒマスカ   | (答) 小孩子 シャオハイヅ   |
| ※(問) 女ノ子ノコトヲ 支那語デ 何トイヒマスカ  | (答) 女孩子 ニュイハイツ   |
| (問) 犬ノコトヲ 支那語デ 何トイヒマスカ     | (答) 狗 コウ         |
| (問) 馬ノコトヲ 支那語デ 何トイヒマスカ     | (答) 馬 マー         |
| (問) 蛙ノコトヲ 支那語デ 何トイヒマスカ     | (答) 蛤蟆 ハーマー      |
| (問) 西瓜ノコトヲ 支那語デ 何トイヒマスカ    | (答) 西瓜 シーコア      |
| (問) バラノコトヲ 支那語デ 何トイヒマスカ    | (答) 薔薇花 チアンウエイホア |
| (問) サクラノコトヲ 支那語デ 何トイヒマスカ   | (答) 櫻花 インホア      |
| ※(問) キクノ花ノコトヲ 支那語デ 何トイヒマスカ | (答) 菊花 チユイホア     |
| ※(問) 竹ノコトヲ 支那語デ 何トイヒマスカ    | (答) 竹子 チユーツ      |
| ※(問) リンゴノコトヲ 支那語デ 何トイヒマスカ  | (答) 蘋果 ピンクオ      |
| ※(問) ブドウノコトヲ 支那語デ 何トイヒマスカ  | (答) 葡萄 プウタオ      |

(問) 口、鼻、耳、目、舌ノコトヲ支那語デ 何トイヒマスカ

(答) 嘴 鼻子 耳朵 眼睛 舌頭 ツオイ ビーツ アルトン イエンチン ヘシオートウ  
 ※マークは今回追加した情報

答は中国語とカナによる発音表記が併記されている。カナの発音表記自体は『支那語勉強』と大差はないが、「舌頭」のカナが「ヘシオートウ」となっており、「ヘ」はそり舌音を表す記号であると考えられる。また同じ漢字であっても小孩子（シャオハイヅ）と女孩子（ニュイハイヅ）のように同じ「子」であってもヅとツのように清濁の判断が分かれる例もある。

### 1.5 『16.12.15 NAGOYA』

上記の2か月後に発売されたメンコで、質問が書かれている面は龍のイラストが描かれたも



図7 『16.12.15 NAGOYA』の表面（上段）と裏面（下段）

のと、中国の城（6枚）と戦闘機（6枚）と思われるイラストが描かれたものが2種類ある。1枚の大きさは縦7.6cm×横3.4cmで16.10.15と同じである。合計12枚。

同時期に発売されたものではあるが、イラストのタッチ、カナ表記が異なる。また「16.10.15」では「母親」のカナ表記が「ムウチン」となっていたものが「16.12.15」では「ムーウチン」となっているなど同じシリーズ内でもカナ表記が異なることがある。

「跑 パオ」と「報 パオ」の例から有気音と無気音は区別しておらず、「池子 チーズ」の表記からもそり舌音についても区別していないことが分かる。

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| (問) 支那語デハ羊ノコトヲナント言フデセウ | (答) 羊 ヤン     |
| (問) 支那語デハ母ノコトヲナント言フデセウ | (答) 母親 ムーウチン |
| (問) 支那語デハ草ノコトヲナント言フデセウ | (答) 草 ツヤオール  |
| (問) 支那語デハ川ノコトヲナント言フデセウ | (答) 河 ホオ     |

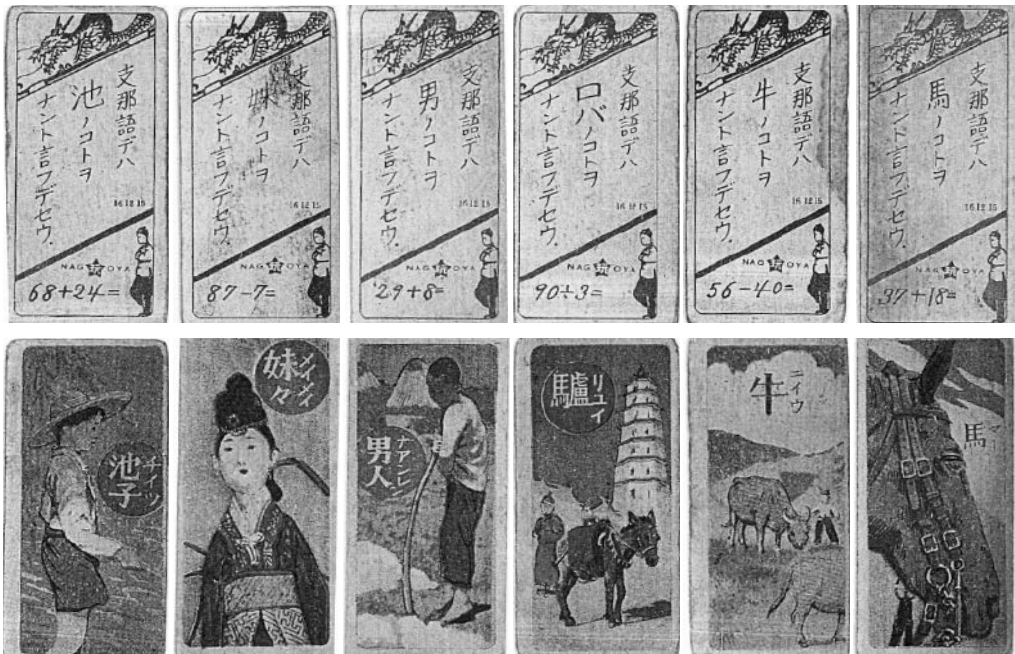


図8 『16.12.15 NAGOYA』の表面（上段）と裏面（下段）

- |                         |             |
|-------------------------|-------------|
| (問) 支那語デハ池ノコトヲナント言フデセウ  | (答) 池子 チイツ  |
| (問) 支那語デハ妹ノコトヲナント言フデセウ  | (答) 妹々 メイメイ |
| (問) 支那語デハ男ノコトヲナント言フデセウ  | (答) 男人 ナンレン |
| (問) 支那語デハロバノコトヲナント言フデセウ | (答) 驢 リユイ   |

(問) 支那語デハ牛ノコトヲナント言フデセウ

(答) 牛 ニイウ

(問) 支那語デハ馬ノコトヲナント言フデセウ

(答) 馬 ニイウ

## 1.6 まとめ

以上のことから中国語を扱ったなぞなぞめんこについては『支那語勉強』系統の 28 枚と NAGOYA 系統の 29 枚、計 57 枚があることが分かっている。全体の内容や構成バランスからまだほかにも存在していたと考えられるが、現時点ではこれ以上は分からない。いずれの系統も人物については中国人を描いており、身近な動物、植物、食べ物、身近なものを扱っており、当時、満洲で生活していた日本の子供が使っていたのではないかと考えられる。

## 2. 紙芝居

子供を対象とした中国語教材として、日本人が編集した中国語と日本語の対訳形式の「紙芝居」が存在することが分かった。この紙芝居は昭和 16 (1941) 年 7 月 25 日に出版された『緑鞋 (青い靴)』(日本教育紙芝居協会作品 130、佐木秋夫編)<sup>2)</sup>である。

全 18 枚からなり、日本教育画劇株式会社が出版したものである。



図9 『緑鞋 (青い靴)』の表紙

2) 国会図書館や大学図書館には所蔵が確認されず、2021年の時点で現物は筆者が所有するもの以外見つからない。

佐々木由美子 2017<sup>3)</sup>によると日本教育紙芝居協会は昭和 13（1938）年 7 月に紙芝居を通した文化貢献を目的として松永健哉らによって創設された組織で、紙芝居の制作、紙芝居の普及・啓蒙活動、研究調査を 3 つの柱として事業を展開している組織である。日本教育紙芝居協会は数多くの紙芝居を制作、出版しているが、中国語を扱ったものは管見の限り他には例はない。

この『緑鞋』は満洲国のある村の貧しい靴屋のおじいさんが作った青い子供靴の出来が良かったので、この靴だけはお金では売らず、感心な子供を見つけたら履かせようと考え、店にやって来る子供の様子を窺う。主人公の淑貞という女の子がこの店にやってきた際に、店先に飾られていた靴を気に入り靴屋のおじいさんに購入を申し出るが何度お願いしても買うことができず長い時間が過ぎる。そんなある日、店の前で拾ったお金で喧嘩をしている子供たちをいさめている淑貞を見かけ、こんな立派な子がいたら将来この国も安泰だとおじいさんは思い、おじいさんがそっと靴をプレゼントするというのが基本的な物語の内容である。

お金では決して買えない靴をキーワードに子供の道徳心とそれを評価するおじいさんの行動が物語の骨子となっている。

紙芝居は通常表に絵が、裏面にその内容を記したセリフが記されている。この紙芝居は対訳形式のため次の図のように上下に日本語と中国語が配置されている。語りの部分やセリフだけではなく、「ぬく」といった動作も「抽」のように中国語に訳されており、完全な対訳となっている。

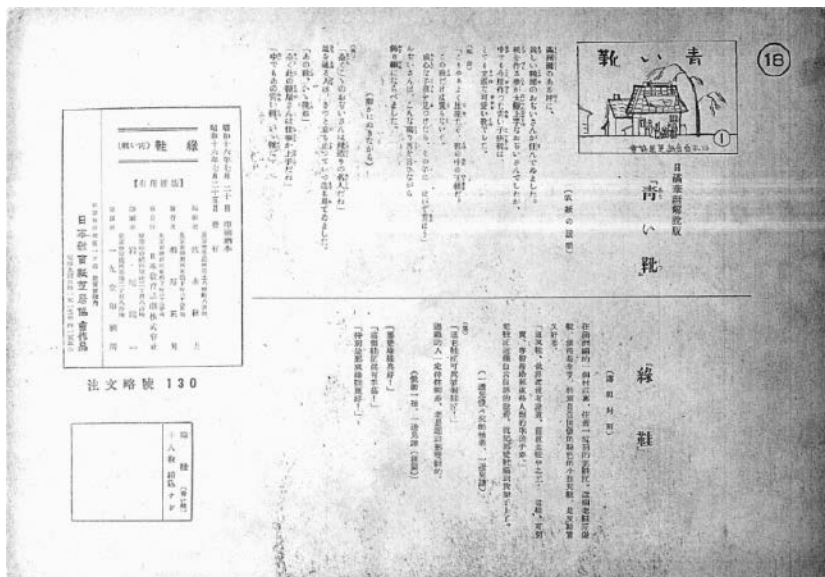


図 10 『緑鞋（青い靴）』の表紙に対する語り

3) 佐々木由美子 2017「日本教育紙芝居協会「保育紙芝居」がめざしたもの」『東京未来大学研究紀要』2017年 11 巻 p. 87

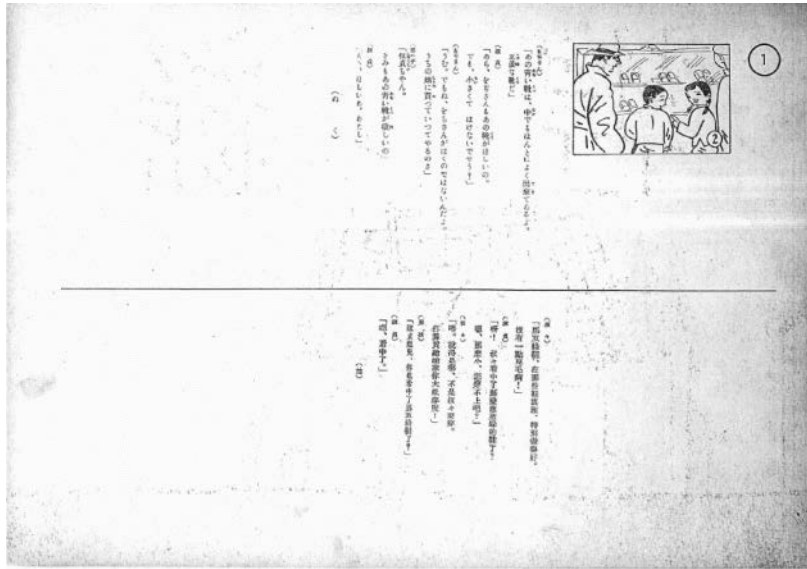


図 11 『緑鞋（青い靴）』の2枚目の絵とそれに対する説明

1枚目の中国語の部分を確認すると、漢字が日本語と中国語の漢字が一部混在しているものの基本的な中国語の表現には問題はなく当時北方で使用されていた標準的な中国語がベースとなっていることが分かる。

(講明封面)

在滿洲國的一個村莊裏、住着一位窮的老鞋匠。這個老鞋匠做鞋、做得最拿手、特別是這回做的綠色的小孩兒鞋、是又結實又好看。

「這双鞋、做得真沒有說道、簡直是鞋中之王！這鞋、可別賣、專留着給那值得人親的乖孩子穿。」

老鞋匠這樣自言自語的說著、就把那雙鞋擺到貨架子上了。

（一邊兒慢々兒的抽着、一邊兒講）

（男）

「這老鞋匠可真够鞋匠！」

過路的人一定停住脚步、老師端詳那雙鞋的。」

（條的一抽，一邊兒講（后同））

「那雙鞋匠真好！」

「這個鞋匠真有手藝！」

「特別是那雙綠鞋更好！」

## おわりに

これまでの調査や資料収集から昭和初期から終戦までの期間に、めんこ・かるた・紙芝居・新聞のイラスト連載など、子供の玩具や子供の目につく媒体を用いた中国語の普及活動が行われてきたことが明らかになってきたが、戦時期に出版されたものであること、子供向けのものであるということから資料が十分に保全されておらず、なかなか資料にアクセスすることができなかった。今後も継続してさらなる資料の調査などを行うとともに、当時の子供に対する中国語をはじめとする外国語学習がどのように政策として進められて行っていたのかも明らかにしていきたい。

### 参考文献

氷野善寛 2020 「昭和初期の子供向けの中国語教材の一端：めんこ・かるた・新聞」『関西大学東西学術研究所紀要』53号、pp. 209-229

佐々木由美子 2017 「日本教育紙芝居協会「保育紙芝居」がめざしたもの」『東京未来大学研究紀要』Vol. 11 pp. 87-95